

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	共用プール建屋内 / 3号 屋外 Rw/B西側						2018/2/23	2018/2/20	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	注1	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	キムタオル 他	A	01	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	ビニール袋, 発砲スチロール 他	A	02	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	木材 他	A	03	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	難燃シート	C	02	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	コーキング剤, エフレックス 他	C	04	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-241/F1-ICWBL-42										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0254
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオル 他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:25	0.2 m ²			1
	2	1	ビニール袋, 発砲スチロール 他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:25	5 m ²			1
	3	1	木材 他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:25	0.2 m ²			1
	4	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:25	0.1 m ²			1
	5	1	コーキング剤, エフレックス 他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:25	0.1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	共用プール建屋内 / 3号 屋外 Rw/B西側						2018/2/23	2018/2/20	2018/2/20
	作業主管G	設備電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/2/15		測定者		測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃シート、不燃ホート 他			B 10 D B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	番線 他			B 01 D B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	切粉			B 01 D B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
	4	キムタオル 他			A 01 D B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
	5	ロープ、皮手 他			A 04 D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-241/F1-ICWBL-42									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0255
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月14日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃シート、不燃ホート 他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/14 8:40	1.5 m ²			1
	2	1	番線 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/14 8:40	0.3 m ²			1
	3	1	切粉	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	70 μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 8:40	0.2 m ²			1
	4	1	キムタオル 他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 8:40	0.3 m ²			1
	5	1	ロープ、皮手 他	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	170 μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 8:40	0.4 m ²			1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 能			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0255

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・UES類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事								
	発生場所	3号機 原子炉建屋 オペフロ						2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	燃料設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/23	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-154		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ(架台類) レッカー使用	B	01	D	B	3 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0258
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(架台類) レッカー使用 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 10:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事								
	発生場所	3号機 原子炉建屋 オペフロ					2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	燃料設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/11/23	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-154		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ(架台類) レッカー使用	B	01	D	B	3 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0259
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(架台類) レッカー使用 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/14 9:20	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事								
	発生場所	3号機 原子炉建屋 オペフロ						2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	燃料設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/23	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-154		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ(架台類) レッカー使用	B	01	D	B	3 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0260
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(架台類) レッカー使用 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/16 9:45	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア						2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	33×1台=3m3333									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0261
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 8:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015																																																																																																													
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:00		承認	審査	作成																																																																																																														
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																																																																																																					
	発生場所	Bエリア						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27																																																																																																													
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL																																																																																																														
	元請会社					担当者			TEL																																																																																																														
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133																																																																																																													
記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率																																																																																																										
		①	②	③																																																																																																																			
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3	m ³	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無																																																																																																										
	2							m ³																																																																																																															
	3							m ³																																																																																																															
	4							m ³																																																																																																															
	5						m ³																																																																																																																
	33×1台=3m3333																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="15">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="14">2018年3月13日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="12">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="12">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> </tbody> </table>															線量測定内容															測定日	2018年3月13日														測定No.	氏名	測定器	管理番号												1		ICWBL	F1-ICWBL-55												2															3															4														
線量測定内容																																																																																																																							
測定日	2018年3月13日																																																																																																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																																																				
2																																																																																																																							
3																																																																																																																							
4																																																																																																																							
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																								
	1	1	金属ガラ ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/3/13 10:25	3 m ³			1																																																																																																								
												m ³																																																																																																											
												m ³																																																																																																											
												m ³																																																																																																											
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																							
メ モ																																																																																																																							

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状態	D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ		B	01	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2							m ²			
	3							m ²			
4							m ²				
5							m ²				
メモ	33×1台=3m3333										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0263
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月13日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 12:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	8:30		承認	審査	作成																														
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																					
	発生場所	Bエリア						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27																													
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL																																
	元請会社					担当者	TEL																																
	線量測定年月日	2018/2/13		測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133																												
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																												
	1	金属ガラ			B	01	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無																											
	2								m ²																														
	3								m ²																														
4								m ²																															
5								m ²																															
33×1台=3m3333																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年3月14日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年3月14日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-55	2				3				4			
線量測定内容																																							
測定日	2018年3月14日																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																				
2																																							
3																																							
4																																							
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																											
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/14 8:00	3 m ²			1																											
									m ²																														
									m ²																														
									m ²																														
									m ²																														
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																							
メ モ																																							
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																										
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																										
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																										
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																										
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																										
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																										
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																											
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	Bエリア						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/13		測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ				B 01 D A		3 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2							m ³				
	3							m ³				
4							m ³					
5							m ³					
33×1台=3m3333												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0265
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/14 11:20	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	Bエリア					2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
メ モ	線量測定年月日	2018/2/20		測定者			測定器名	βγ用電離箱	
							管理番号	F1-ICWBL-103	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
					① ② ③				β・α 汚染の有無
									β+γ 線量率
メ モ	1	鉄筋コンクリートガラ			B 02 D A		40 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h
	2						m ²		
	3						m ²		
	4						m ²		
	5						m ²		
55×2台×4回転=40m3 8:00、9:00、10:00、12:00									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0267
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月16日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 8:30	5 m ²			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 9:30	5 m ²			1
	1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 10:30	5 m ²			1
	1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 11:20	5 m ²			1
	1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 11:40	5 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0267

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0044

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	配管信頼性向上対策関連								
	発生場所	1F構内 タンクヤード G1コンテナ(GJ-30 南西)						2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者		測定器名	TCS-172B	管理番号	F1-SC-080		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	機器類・制御版類(室外機)	B	03	D	A	0.1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	2	機器類・制御盤類(室内機)	B	03	D	A	0.1 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0275
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御版類(室外機) ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 10:20	0.1 m ²			1
	2	1	機器類・制御盤類(室内機) ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 10:20	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012603 - 0031			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	9:30		承認	審査	作成				
	作業件名	1FSFP塩分除去関連廃棄物処理委託											
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8			
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368			
No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1		コンテナ(ZK-00892)			B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
2		コンテナ(ZK-00988)			B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	無	
3		コンテナ(ZK-00989)			B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.5 mSv/h	無	
4		コンテナ(ZK-00993)			B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.25 mSv/h	無	
5		コンテナ(ZK-00995)			B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.5 mSv/h	無	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0276
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンテナ(ZK-00892)	6 μ Sv/h	22 μ Sv/h	22 μ Sv/h	エリアX	2018/3/12 9:30	6 m ³		ZK-00892	1
	2	1	コンテナ(ZK-00988)	6 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアX	2018/3/12 9:30	6 m ³		ZK-00988	1
	3	1	コンテナ(ZK-00989)	6 μ Sv/h	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアX	2018/3/12 9:30	6 m ³		ZK-00989	1
	4	1	コンテナ(ZK-00993)	6 μ Sv/h	8 μ Sv/h	8 μ Sv/h	エリアX	2018/3/12 9:30	6 m ³		ZK-00993	1
	5	1	コンテナ(ZK-00995)	6 μ Sv/h	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	エリアX	2018/3/12 9:30	6 m ³		ZK-00995	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012803 - 0029			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	9:30		承認	審査	作成				
	作業件名	1号機大物搬入口廻り遮へい体設置調査委託											
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12			
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	コンテナ(ZK-01011)			B	01	D	B	6 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	β有	0.15 mSv/h
	2	コンテナ(ZK-01030)			B	01	D	B	6 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	β有	0.15 mSv/h
	3								m ²				
4								m ²					
5								m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

線量測定内容											
測定日	2018年3月13日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンテナ(ZK-01011)	6 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアX	2018/3/13 9:30	6 m ²		ZK-01011	1
2	1	1	コンテナ(ZK-01030)	6 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアX	2018/3/13 9:30	6 m ²		ZK-01030	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0019

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 輸送貯蔵兼用キャスク移送作業								
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/3/13	2018/3/12	
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-368		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンテナ(ZK-00969)	B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0279
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンテナ(ZK-00969)	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:20	6 m ³		ZK-00969	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F キャスク取扱クレーン点検保守									
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備									
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-368		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	鋼材	B	01	D	B	6 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0280
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/14 9:40	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012603 - 0031

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1FSFP塩分除去関連廃棄物処理委託									
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/3/13	2018/3/12	2018/3/12	
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-368	
No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンテナ(ZK-01017)				① ② ③		6 m ³	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
2							m ³				
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0281
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月16日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンテナ(ZK-01017)	6 μ Sv/h	9 μ Sv/h	9 μ Sv/h	エリアX	2018/3/16 10:10	6 m ³		ZK-01017	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0018

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	セシウム吸着塔交換管理他業務委託									
	発生場所	1F構内						2018/2/27	2018/2/27		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者			測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	079/16		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	① ② ③										
	1	番線	B	01	W	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ペール缶	B	01	W	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	オイルフィルター	B	10	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	作業台手摺り	B	01	W	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0287
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	番線 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 10:30	0.1 m ²			1
	2	1	ペール缶 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 10:30	0.1 m ²			1
	3	1	オイルフィルター ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 10:30	0.1 m ²			1
	4	1	作業台手摺り ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 10:30	0.1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0027

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	集中Rw換気空調系点検修理工事									
	発生場所	高温焼却炉設備建屋 焼却工作建屋 プロセス主建屋						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-107	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	プレフィルタ	B	10	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.55 mSv/h	β 有	25 mSv/h
	2	中性能フィルタ	A	04	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.45 mSv/h	β 有	6 mSv/h
	3	HEPAフィルタ	A	04	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.25 mSv/h	β 有	2 mSv/h
	4	キムタオル	A	01	W	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	5	皮手袋	A	04	D	B	0.01 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0288
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プレフィルタ	5 μ Sv/h	150 μ Sv/h	2.5 mSv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.2 m ²			1
	2	1	中性能フィルタ	5 μ Sv/h	250 μ Sv/h	2.1 mSv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	1 m ²			1
	3	1	HEPAフィルタ	5 μ Sv/h	250 μ Sv/h	2 mSv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	1 m ²			1
	4	1	キムタオル	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	500 μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.01 m ²			1
	5	1	皮手袋	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	110 μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.01 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③									
			B	03	W	B	0.01 m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	6	ベアリング												
	7	ゴムパッキン	C	01	D	B	0.01 m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	8	軸シール	C	04	D	B	0.01 m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	9	Vベルト	C	01	D	B	0.01 m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0288

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	ベアリング	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	80	μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.01	m ²			1
	7	1	ゴムパッキン	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	80	μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.01	m ²			1
	8	1	軸シール	5	μ Sv/h	40	μ Sv/h	120	μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.01	m ²			1
	9	1	Vベルト	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	80	μ Sv/h	エリアX	2018/3/14 10:45	0.01	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
			01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
	B 不燃物		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012604 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F3 透過法ミュオン測定準備業務委託									
	発生場所	サブドレ移送設備建屋付近						2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28	
	作業主管G	燃料調査グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-377			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類			A 01 D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ホリ・ビニール類			A 02 D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	可燃物・その他			A 04 D B	0.8 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	4	ケーブル類			B 08 D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	5					m ²					
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0289
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月12日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICW	F1-ICW-025
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	15 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 12:00	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 12:00	0.2 m ²			1
	3	1	可燃物・その他	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 12:00	0.1 m ²			1
	4	1	ケーブル類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 11:50	0.1 m ²			2
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月12日	(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	小口工事								
	発生場所	登録センター屋内			2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27			
	作業主管G	建築保全・総括グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名	電離箱サーベイメーター	管理番号 F1-ICW-371			
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃シート	B	10	D	B	0.45 m ²	0.001 mSv/h	0.01 μ Sv/h	無
	2	吹付ロックウール	B	10	D	A	0.2 m ²	0.001 mSv/h	0.01 μ Sv/h	無
	3	石膏ボード	B	10	D	A	0.2 m ²	0.001 mSv/h	0.01 μ Sv/h	無
	4						m ²			
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0290
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				
石膏ボード、吹付材は石綿含有でないことを 主管G殿確認済み。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃シート③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 11:05	0.45 m ²			1
	2	1	吹付ロックウール③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 11:05	0.2 m ²			1
	3	1	石膏ボード③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 11:05	0.2 m ²			1
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)									
	発生場所	K系排水路						2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-45		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	土砂類	B	04	W	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	β有	0.25 mSv/h
	2	土砂類	B	04	W	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.4 mSv/h	β有	0.6 mSv/h
3	土砂類	B	04	W	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β有	0.4 mSv/h	
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0291
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	5 μSv/h	130 μSv/h	220 μSv/h	エリアX	2018/3/13 8:20	1 m ²			1
	2	1	土砂類	5 μSv/h	100 μSv/h	300 μSv/h	エリアX	2018/3/13 8:20	1 m ²			1
	3	1	土砂類	5 μSv/h	80 μSv/h	250 μSv/h	エリアX	2018/3/13 8:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—			
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—			
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類			
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他			
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—			
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有										
						履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013104 - 0002		
作業主管理	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	13:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事										
	発生場所	土捨場					2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28			
	作業主管G	トレンチ対策グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
線量測定	線量測定年月日	2018/2/19		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-215	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	2						m ³					
	3						m ³					
入欄メモ	4						m ³					
	5						m ³					
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0292	2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月12日		13:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/12 12:35	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013201 - 0001		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事										
	発生場所	第一地組ヤード						2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28		
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
1	金属がら	B	01	D	B	10 m ³	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無			
2						m ³						
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0294
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月12日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h									
1	1		金属がら ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/12 11:00	4	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
		C	難 燃 物	01 フランジタンク本体		02 フランジタンク付属品		03 —		04 —		05 —	
01 ゴム類				02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	11:30		承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事											
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28			
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	不燃物(金属ガラ)			B	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	不燃物(機器類・制御盤類)			B	03	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3								m ²				
4								m ²					
5								m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0295	2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月13日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 10:30	3 m ²			1
2	1	1	不燃物(機器類・制御盤類) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 10:30	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	13:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130		
	G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	6 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
2						m ³						
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0296
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月13日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 11:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	12:30		承認	審査	作成
	作業件名	G1エリアタンクリブレイス関連工事							
	発生場所	G1エリア							
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2017/11/29		測定者			測定器名	ICW(B)	
							管理番号	F1-ICWBL-53	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ(ケーブルトレイ、蓋)	B	01	D	B	10 m ²	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h
入 欄 メ モ	2					m ²			
	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0297
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月14日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(ケーブルトレイ、蓋) ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/14 12:30	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	南側護岸他復旧工事							
	発生場所	5/6号機取水路開渠付近						2018/3/12	2018/3/12
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者			測定器名	TCS-172B	管理番号	F1-SC-176
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	発泡スチロール	A	02	D	A	8 m ³	1 μSv/h	0.8 μSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0298
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				
瓦礫受取担当者殿 1m3コンテナに入れた状態で8個持込まれますので受取をお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 10:00	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0003

作業主管理	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	南側護岸他復旧工事									
	発生場所	5/6号機取水路開渠付近						2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12	
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
線量測定	線量測定年月日	2018/2/23		測定者			測定器名	TCS-172B		管理番号	F1-SC-176
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	A	4 m ³	1 μ Sv/h	0.8 μ Sv/h	無		
2	フローターカバー	C	04	D	A	2 m ³	1 μ Sv/h	0.8 μ Sv/h	無		
3	シルトフェンススカート	A	04	D	A	2 m ³	1 μ Sv/h	0.8 μ Sv/h	無		
4						m ³					
5						m ³					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0299
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月14日		13:00
【保管時の指示事項等】				
瓦礫受取担当者殿 1m3コンテナに入れた状態で8個持込まれますので受取をお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 10:15	4 m ³			1
	2	1	フローターカバー	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 10:15	2 m ³			1
	3	1	シルトフェンススカート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 10:15	2 m ³			1
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0003

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日	(金)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	南側護岸他復旧工事								
	発生場所	5/6号機取水路開渠付近			2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12			
	作業主管G	港湾土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者		測定器名	TCS-172B	管理番号	F1-SC-176		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	シルトフェンススカート	A	04	D	A	2 m ²	1 μSv/h	0.8 μSv/h	無	
2	フローターカバー	C	04	D	A	2 m ²	1 μSv/h	0.8 μSv/h	無	
3	大型土嚢	A	04	D	A	2 m ²	1 μSv/h	0.8 μSv/h	無	
4	ロープ	A	04	D	A	1 m ²	1 μSv/h	0.8 μSv/h	無	
5	ロープ	B	05	D	A	1 m ²	1 μSv/h	0.8 μSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0300
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月16日		13:00
【保管時の指示事項等】				
瓦礫受取担当者殿 1m3コンテナに入れた状態で8個持込まれますので受取をお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		シルトフェンススカート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 13:00	2 m ²			1
2	1		フローターカバー	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 13:00	2 m ²			1
3	1		大型土嚢	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 13:00	1 m ²			1
4	1		ロープ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 13:00	1 m ²			1
5	1		ロープ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 13:00	2 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0041

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク連結管交換工事									
	発生場所	H9Wタンクエリア						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員					
	元請会社					担当者					
	線量測定年月日	2018/2/23		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	0.3 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	0.5 m	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.6 mSv/h
	3	難燃物その他	C	04	D	A	0.5 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h
	4						m				
	5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0308
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	100 μ Sv/h	エリアX	2018/3/13 8:55	0.3 m			1
	2	1	金属ガラ	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	200 μ Sv/h	エリアX	2018/3/13 8:55	0.5 m			1
	3	1	難燃物その他	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	100 μ Sv/h	エリアX	2018/3/13 8:55	0.5 m			1
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0006

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	防災業務委託									
	発生場所	1F 消防車庫						2018/3/13	2018/3/13		
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号		
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
						① ② ③					
	1	金属ガラ				B 01 D A	3 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	塩化ビニール類				B 05 D A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	ケーブル類				B 08 D A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4	不燃物その他				B 10 D A	6 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0311
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月16日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 9:50	2 m ²			2
	2	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 12:30	0.1 m ²			1
	3	1	ケーブル類⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 9:50	1 m ²			2
	4	1	不燃物その他③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 9:50	7 m ²			2
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	12:30	承認	審査	作成						
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事												
	発生場所	G6、H6北タンクエリア					2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1					
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-130					
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③										
	1	不燃物(その他)	B	10	D	B	7	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2							m ²						
	3							m ²						
	4							m ²						
5							m ²							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0321
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月16日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(その他) ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/16 10:55	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1～3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)									
	発生場所	1号機 T/B 2F					2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28		
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-46	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	鉛遮蔽板	B	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	カバー	B	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	計測装置	B	03	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0322
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月16日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉛遮蔽板	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアX	2018/3/16 10:45	0.5 m ²			1
	2	1	カバー ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 10:45	0.1 m ²			1
	3	1	計測装置 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/16 10:45	0.1 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業主管理	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eタンクエリア						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
線量測定	線量測定年月日	2018/2/22		測定者			測定器名	β+γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-27
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	① ② ③										
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2	可燃物その他(フレコンパック)			2 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
3	ゴム類			1 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
4				m ²							
5				m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0327
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月12日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h									
1	1		プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/12 9:15	0.2	m ²			1
2	1		可燃物その他(フレコンパック)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/12 9:15	1.1	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028																																																																																					
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月13日		(火)		9:30		承認	審査	作成																																																																																				
	作業件名		G1エリアタンクリプレイス関連工事																																																																																												
	発生場所		Eタンクエリア							2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1																																																																																			
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員		TEL																																																																																						
	元請会社						担当者		TEL																																																																																						
	線量測定年月日		2018/2/22		測定者				測定器名		β+γ用電離箱																																																																																				
									管理番号		F1-ICWBL-27																																																																																				
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率																																																																																			
												β・α 汚染の有無																																																																																			
												β+γ 線量率																																																																																			
1		紙・ウエス類			A 01 W B		1 m ²		0.002 mSv/h		0.01 mSv/h																																																																																				
2		プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D B		3 m ²		0.002 mSv/h		0.05 mSv/h																																																																																				
3							m ²																																																																																								
4							m ²																																																																																								
5							m ²																																																																																								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="10">2018年3月13日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="9">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日		2018年3月13日										測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICWBL	F1-ICWBL-55									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日		2018年3月13日																																																																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																												
	1	1	紙・ウエス類		5 μSv/h		10 μSv/h		30 μSv/h		エリアX		2018/3/13 9:15		1 m ²				1																																																																												
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類		5 μSv/h		20 μSv/h		100 μSv/h		エリアX		2018/3/13 9:15		3 m ²				1																																																																												
															m ²																																																																																
															m ²																																																																																
															m ²																																																																																
															m ²																																																																																
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																														
	メ モ																																																																																														
	※ カ テ ゴ リ	①		A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—																																																																															
06 —						07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																			
B					不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																																	
						01 難燃物		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																	
D				伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																		
					01 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																				
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日	(水)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 タンク水位計設置(Q'd)							
	発生場所	H1エリア, H2エリア			2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-13	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	ホース類(エフレックス)	C	03	D	B	6 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m			
3						m			
4						m			
5						m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0329
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ホース類(エフレックス)(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 11:00	6 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6012911 - 0001																																																																																																																																																																																																																		
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月13日			(火)		10:00			承認		審査		作成																																																																																																																																																																																																															
	作業件名		1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事																																																																																																																																																																																																																											
	発生場所		既設多核種建屋										2018/2/28		2018/2/27		2018/2/27																																																																																																																																																																																																													
	作業主管G		設備電源グループ					監理員				TEL																																																																																																																																																																																																																		
	元請会社							担当者				TEL																																																																																																																																																																																																																		
	線量測定年月日		2018/2/15		測定者				測定器名		ICW/ICWBL		管理番号		108/35																																																																																																																																																																																																															
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																																																																																																																														
	1		紙・ウエス類			A 01 D B		1 m ²		0.002 mSv/h		0.009 mSv/h		無																																																																																																																																																																																																																
	2		プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D B		2 m ²		0.002 mSv/h		0.009 mSv/h		無																																																																																																																																																																																																																
	3		可燃物その他			A 04 D B		1 m ²		0.002 mSv/h		0.009 mSv/h		無																																																																																																																																																																																																																
4		難燃物その他			C 04 D B		1 m ²		0.002 mSv/h		0.009 mSv/h		無																																																																																																																																																																																																																	
5							m ²																																																																																																																																																																																																																							
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="10">2018年3月13日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="9">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容												測定日		2018年3月13日										測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICW	F1-ICW-158									2												3												4																																																																																																																																						
線量測定内容																																																																																																																																																																																																																														
測定日		2018年3月13日																																																																																																																																																																																																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																																																																																																																											
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																																																																																																																																																											
2																																																																																																																																																																																																																														
3																																																																																																																																																																																																																														
4																																																																																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>保管 実績 記 入 欄 メ モ</th> <th>No.</th> <th>枝 番</th> <th>保 管 物 名</th> <th>測定場所 雰囲気線量率</th> <th>表面線量率</th> <th>$\beta + \gamma$ 線量率</th> <th>保管場所</th> <th>保管日時</th> <th>物 量</th> <th>再利用/ 減容可否</th> <th>コンテナNo.</th> <th>測定No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>紙・ウエス類</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td>5 μ Sv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/13 9:50</td> <td>0.6 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>プラスチック・ポリ・ビニール類</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/13 9:50</td> <td>2.7 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>可燃物その他</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/13 9:50</td> <td>0.05 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>難燃物その他</td> <td>2 μ Sv/h</td> <td>7 μ Sv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/13 9:50</td> <td>0.1 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="13">* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載</td> </tr> <tr> <td colspan="13">※カテゴリ</td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カテゴリ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可 燃 物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不 燃 物</td> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難 燃 物</td> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>伐 採 木</td> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履 歴</td> <td colspan="3">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="13"> 注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、$\beta + \gamma$ 線量率欄に「$\beta + \gamma$」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、$\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。 </td> </tr> </tbody> </table>																保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	0.6 m ²			1	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	2.7 m ²			1	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	0.05 m ²			1	4	1	難燃物その他	2 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	0.1 m ²			1	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													※カテゴリ													<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カテゴリ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可 燃 物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不 燃 物</td> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難 燃 物</td> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>伐 採 木</td> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履 歴</td> <td colspan="3">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>													※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。												
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																																																																																																																																		
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	0.6 m ²			1																																																																																																																																																																																																																		
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	2.7 m ²			1																																																																																																																																																																																																																		
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	0.05 m ²			1																																																																																																																																																																																																																		
	4	1	難燃物その他	2 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:50	0.1 m ²			1																																																																																																																																																																																																																		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																																																																																																														
※カテゴリ																																																																																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カテゴリ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可 燃 物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不 燃 物</td> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難 燃 物</td> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>伐 採 木</td> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履 歴</td> <td colspan="3">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>													※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																							
※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05					—																																																																																																																																																																																																													
				06	—	07	—	08	—	09	—	10					—																																																																																																																																																																																																													
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04					土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																																																																																																																																											
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09					アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																																																																																																																																											
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																																																																																																																																															
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																																																																																																																																			
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																																																																																																																																	
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																																																																																																				
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																																																																																																																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)									
	発生場所	車両汚染検査場						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2	
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/1		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	パワートート(容器、パレット)			5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無			
	2				m ²						
	3				m ²						
	4				m ²						
	5				m ²						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0363
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月12日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 11:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日	(月)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)							
	発生場所	車両汚染検査場			2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2		
	作業主管G	放射線安全グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-123		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	パワートート(容器、パレット)	A	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0364
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月12日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 13:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車両汚染検査場						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/3/1	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
1	キムタオル、ウエス	A	01	W	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.5 mSv/h	β有	6 mSv/h
2	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.025 mSv/h	無	
3	パウチ、結束バンド、ロープ類	A	04	D	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ビニール袋	A	02	W	B	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	ゴム類	C	01	D	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0365
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月13日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオル、ウエス	5 μSv/h	70 μSv/h	150 μSv/h	エリアX	2018/3/13 11:10	0.1 m ²			2
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	5 μSv/h		エリアO	2018/3/13 12:00	0.3 m ²			1
	3	1	パウチ、結束バンド、ロープ類	2 μSv/h	6 μSv/h		エリアO	2018/3/13 12:00	0.6 m ²			1
	4	1	ビニール袋	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 12:00	0.8 m ²			1
	5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 12:00	0.2 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0102

作業主管理	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	13:00		承認	審査	作成
	作業件名	水処理設備スラッジ等処理業務委託(H27)							
	発生場所	Cエリア(蒸発濃縮装置3ハウス)						2018/2/28	2018/2/28
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
線量測定	線量測定年月日	2018/2/27		測定者			測定器名	電離箱サーバイメータ	管理番号
									F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	土砂類	B	04	D	A	4.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
記入欄	2					m ²			
	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			
	6m3コンテナ保管(借用済)荷重5t未満確認								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0369
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月16日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	6 μ Sv/h	23 μ Sv/h	27 μ Sv/h	エリアX	2018/3/16 13:00	6 m ²		ZK-00987	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0026

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	HTI浄化ライン増設工事(1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)									
	発生場所	HTI建屋 4号タービン建屋									
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	FI-ICW-117FI-ICW-BL-103		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	不燃物(保温材)	B	06	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	難燃物シート類	C	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	不燃物その他	B	10	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0373
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-55	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(保温材) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 8:15	3 m ²			2
	2	1	難燃物シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:00	0.8 m ²			1
	3	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/13 8:15	1 m ²			2
	4	1	不燃物その他 ③	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアC	2018/3/13 8:15	0.5 m ²			2
	5	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 8:00	0.2 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	危険物屋内貯蔵倉庫設置に伴う海生物処理設備重油タンク除却工事									
	発生場所	1F 消防車庫				2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2			
	作業主管G	防災安全グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0377
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 9:40	2.6 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 9:40	2.7 m ²			1
	2	2	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 9:40	2.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	危険物屋内貯蔵倉庫設置に伴う海生物処理設備重油タンク除却工事								
	発生場所	1F 消防車庫								
	作業主管G	防災安全グループ	監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-73			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	木材類	A	03	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0378
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 10:00	1.02 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0005

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	危険物屋内貯蔵倉庫設置に伴う海生物処理設備重油タンク除却工事								
	発生場所	1F 消防車庫				2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2		
	作業主管G	防災安全グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0379
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月13日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 9:10	0.1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/13 9:10	1.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	危険物屋内貯蔵倉庫設置に伴う海生物処理設備重油タンク除却工事								
	発生場所	1F 消防車庫					2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2	
	作業主管G	防災安全グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	木材類	A	03	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	可燃物その他	A	04	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0380
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月13日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	可燃物その他	2 μSv/h	6 μSv/h		エリアO	2018/3/13 12:15	0.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。